



Iwatani



2025年4月4日
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油株式会社
岩谷産業株式会社
日揮ホールディングス株式会社
株式会社レポインターナショナル
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

国産 SAF サプライチェーン構築に向けた取り組みに岩谷産業が参加

～国内唯一の国産 SAF プラントの原料となる廃食用油の調達支援業務委託契約を締結～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（社長：山田 茂、以下「コスモエネルギーHD」）、コスモ石油株式会社（社長：西 克司、以下「コスモ石油」）、岩谷産業株式会社（社長：間島 寛、以下「岩谷産業」）、日揮ホールディングス株式会社（会長 CEO 佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レポインターナショナル（CEO 越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：秋鹿 正敬、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）の6社は、国内唯一の廃食用油を原料とした国産 SAF 製造設備における SAF 製造開始に向けて連携した取り組みを開始したことをお知らせします。

岩谷産業は、コスモエネルギーHD のグループ会社であるコスモ石油と日揮 HD、レポインターナショナルの3社が共同で設立した SAFFAIRE SKY ENERGY ならびにレポインターナショナルと、国産 SAF の大規模製造及び供給に向けたサプライチェーンの拡大を目指し、この度、廃食用油調達支援業務委託契約締結しました。原料となる廃食用油のさらなる調達に向け、岩谷産業の有する幅広いネットワークを活用し、SAF 供給に向けて連携してまいります。

また、岩谷産業は、SAF で飛行機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」にも参画し、本連携を通してプロジェクトの輪を広げていきます。

○廃食用油調達支援業務委託契約の概要

岩谷産業は、SAFFAIRE SKY ENERGY からの業務委託を受け、岩谷産業が持つ全国約330万世帯のLPガス顧客網や、産業ガス・エネルギー事業のネットワークを活用して、国内廃食用油の排出元を開拓し、国産 SAF の原料としての調達に協力いたします。レポインターナショナルは、岩谷産業が開拓した排出元から廃食用油を収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY が大阪府堺市で推進する日本初となる国産 SAF の大規模生産プラント（2024年12月完工）向けに納入いたします。さらに、SAFFAIRE SKY ENERGY は国内唯一とな



Iwatani



る国産 SAF の大規模製造設備において、レボインターナショナルから納入された廃食用油を原料として SAF の製造を行います。

6社は共同で、廃食用油調達から、SAF の製造、航空会社への供給に至るまですべてのサプライチェーン構築を国内で実現する取組みを進めてまいります。なお、国内で回収した廃食用油を原料とした SAF は、今月より製造及び供給が開始される予定です。



○各社の役割

コスモエネルギーHD	グループ全体の統括を行い、販売網の拡大や戦略立案を支援する役割を果たす
コスモ石油	SAF（持続可能な航空燃料）の製造および、航空各会社への販売、輸送を主に担当し、安定した供給体制を確立する役割を担う
岩谷産業	全国約 330 万世帯の LP ガス顧客網や、産業ガス・エネルギー事業のネットワークを活用し、SAF の原料となる国内廃食用油の排出元を開拓
日揮 HD	廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーンの全体構築
レボインターナショナル	岩谷産業が開拓した排出元から廃食用油を収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY が大阪府堺市で推進する日本初となる国産 SAF の大規模生産プラント（2024 年 12 月完工）向けに納入
SAFFAIRE SKY ENERGY	廃食用油を原料とした SAF の製造

OSAF の需要見通し

SAF とは、化石資源以外を原料とする持続可能な航空燃料で、原料が 100% 廃食用油の場合、原料の調達から SAF の製造、燃焼のバリューチェーン全体で、従来の航空燃料と比較して温室効果ガスを約 80% 削減でき、ジェット燃料と同じ性能を有することから、航空セクターの脱炭素で中心的役割として世界各国で需要が高まっています。EU では 2025 年より SAF の供給義務化がスタートし、日本でも 2030 年に航空燃料の 10% を SAF に置き換える目標が設定され、その需要は今後ますます増加することが見込まれます。現在、SAF の主な原料である廃食用油は、全体の 3 割が海外に輸出され、割高な SAF を輸入している状態です。そのため、国内初となる国産 SAF サプライチェーンの構築により、SAF 自給率を高め、循環型社会の実現に取り組んでまいります。

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

コスモ石油と日揮 HD、レポインターナショナルは共同で、国内における廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。2024 年 12 月にコスモ石油堺製油所（大阪府堺市）内において SAF 製造装置の建設が完了し、2025 年 4 月からの供給開始を見込んでいます。供給する SAF は、国際的な持続可能性認証である ISCC CORSIA 認証を取得しています。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



完工した SAF 製造装置
(コスモ石油堺製油所構内)



SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設
(コスモ石油堺製油所構内)



Iwatani



【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とする SAF で航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。日揮 HD が事務局を務め、設立主旨に賛同する 212 の企業・自治体・団体が参加しています（2025 年 3 月末日時点）

※Fry to Fly Project 特設サイト：

<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>



以上